

【様式】

令和元年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 杉の子特別支援学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と社会参加をめざし、主体的に取り組む子ども</li> <li>・自己肯定感や他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚あふれる子ども</li> </ul>
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に情熱をもって取り組み、子どものニーズや障がいの特性に応じた教育活動や地域支援を推進する教員</li> <li>・対話・会話を大切にし、同僚と協働でき、組織力の向上をめざす教員</li> <li>・防災対策や防災教育、人権感覚あふれる学校づくり等、子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくりを推進していく教員</li> <li>・保護者・地域・関係機関と連携し、就学前から卒業後までの一貫した指導・支援を推進していく教員</li> </ul>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈児童・生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と社会参加に向けて、様々な体験的な学習を経験して、卒業後の生活に必要な力や主体性を育ててほしい。</li> <li>・一人ひとりが活かされる仲間づくりを推進してほしい。</li> </ul> <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりのニーズに応じた自立と社会参加に向けた教育と進路実現を推進してほしい。</li> <li>・安心・安全な学習環境を維持継続してほしい。</li> </ul> <p>〈地域の学校・関係機関〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における特別支援教育の充実・推進に向け、センター的機能を発揮してほしい。</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人ひとりのニーズに応じた安心・安全な教育</li> </ul> <p>〈地域の学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を通しての共生共学に対する理解と推進</li> <li>・地域の特別支援教育のセンター的機能</li> </ul> <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供や障がい者理解に向けた支援</li> </ul> <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育活動の公開と情報提供</li> </ul>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す学校づくりへの理解と協力</li> </ul> <p>〈地域の学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を通しての様々な活動や体験</li> </ul> <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場実習の受け入れ及び就労実現</li> <li>・職業授業への情報やノウハウの提供</li> <li>・放課後等の利用、卒業後の入所</li> <li>・就労や施設利用に関する情報の提供</li> </ul> <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会活動への参加や進路先の確保、卒業後の支援</li> <li>・本校の教育活動の理解と協力</li> </ul>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育プログラムを活用した教育実践や授業改善を進めるとともに、新学習指導要領に対応した教育内容の実践や教育課程の編成が必要である。</li> <li>・地域に開かれた学校としての取り組みを進めるために、地域への情報発信やマスコミ等を活用した広報についても検討し、また保護者等へのニーズに応じた適切な情報発信の内容や量について検討を進める必要がある。</li> <li>・働きやすい職場づくりを進めるために、さらに業務の改善や効率化を進め、職員の負担軽減を図ることが求められる。</li> </ul>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と社会参加を目指した一貫性のあるキャリア教育の推進、新学習指導要領に対応した教育実践を確立する必要がある。</li> <li>・命を大切にする教育、人権教育の推進を図る必要がある。</li> <li>・自立と社会参加を目指す教育の充実に向け、多様な体験的な学習機会を設定し、系統的・計画的・組織的な取り組みを推進する必要がある。</li> </ul>
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育におけるセンター的機能の充実を図る必要がある。</li> <li>・組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上を推進する必要がある。</li> <li>・より実際的で多様な場面設定がなされた防災訓練、危機管理訓練等を実施し、教職員の対応力向上を推進する必要がある。</li> <li>・本校・分校、関係機関（鈴鹿病院、石高等）、保護者との連携や情報共有の推進、地域とのつながりを強化し、開かれた学校への展開を推進する必要がある。</li> <li>・信頼される学校、教職員が働きやすい職場であるための取り組みを推進していく必要がある。</li> <li>・業務内容、校内組織の見直しを推進し、総勤務時間の縮減に向けた取り組みを推進していく必要がある。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と社会参加を目指した一貫性のあるキャリア教育の推進、新学習指導要領に対応した教育実践を確立する。</li> <li>・命を大切にする教育、人権教育を推進する。</li> <li>・自立と社会参加を目指す教育の充実に向け、多様な体験的な学習機会を設定し、系統的・計画的・組織的な取り組む。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育におけるセンター的機能の充実を図る。</li> <li>・組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上を推進する。</li> <li>・より実際的で多様な場面設定がなされた防災訓練、危機管理訓練等を実施し、教職員の対応力向上を推進する。</li> <li>・本校・分校、関係機関（鈴鹿病院、石高等）、保護者との連携や情報共有の推進、地域とのつながりを強化し、開かれた学校への展開を推進する。</li> <li>・信頼される学校・働きやすい職場であるための取り組み、並びに、業務内容・校内組織の見直しを推進し、総勤務時間の縮減に向けた取り組みを推進する。</li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
○キャリア教育の推進、新学習指導要領に対応した教育実践の確立	<p>○キャリア教育プログラムに基づいた授業の充実</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に対応したキャリア教育プログラムの検討</li> <li>・キャリア教育プログラムに基づく授業公開（教員相互による授業見学と研究協議）の実施</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育プログラム及びその活用についての検討 10回</li> <li>・新学習指導要領の対応と「杉の子キャリア教育プログラム」を活用した授業公開の実施 50回以上</li> <li>・キャリア教育プログラムの活用についての教員アンケートの満足度 80%以上</li> </ul>	<p>教育課程検討委員会（4月15日、1月29日）にて、新学習指導要領に対応した教育課程の検討</p> <p>公開授業 11月5日～11月22日、51回実施</p> <p>学部研修等でキャリア教育プログラムの活用等について4回検討</p> <p>教員アンケート満足度 81%</p>	

<p>○命を大切に する教 育、人権教 育の推進</p>	<p>○児童生徒一人ひとりが自己肯定感を高め、お互いを認め合 い適切な人間関係を形成する取り組みの推進</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉の子人権週間や、いじめ防止月間の取り組みを中心とし た自分自身や相手を大切にすることを育む人権意識等 の向上</li> <li>・人権等の職員研修の実施により人権意識等の向上と各自の 人権教育等に対する振り返りの機会の設定</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくりを進めるための児童生徒会を中心とした全校集 会の実施 学期2回（年間6回）</li> <li>・職員研修会実施後の人権意識向上の達成度 80%以上</li> </ul>	<p>杉の子人権週間 6月 17 日～28日、11月 25日～ 12月 6日、1月 27日～31 日実施</p> <p>全校集会6回実施</p> <p>第1回研修会 100% 第2回研修会 94%</p>	
<p>○体験的な 学習の充実</p>	<p>○新学習指導要領に示されている実際の社会や生活で必要 な知識・技能や、思考力・判断力・表現力や学びに向かう 力などが育成できる校外学習や職業実習などの取り組み</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体験や公共のルールを身につけることを目的とした校 外学習の実施</li> <li>・働くことの意義や知識技能を身につけることを目的とした 校内実習や現場実習の実施</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部校外学習における新学習指導要領小学部「生活」の 内容「きまり」「社会の仕組みと公共施設」における2段 階の学習を行った児童の割合 80%以上（小学部）</li> <li>・中学部校内実習における新学習指導要領中学部「職業・家 庭」の内容「職業生活」における1段階の学習を行った生 徒の割合 80%以上（中学部）</li> </ul>	<p>中学部校内実習(11/11 ～11/15)実施</p> <p>高等部現場実習(第1 期:6/10～6/14、第2期: 9/30～10/4、10/7～ 10/11)実施</p> <p>学習を行った児童の割合 95%(小学部)</p> <p>学習を行った生徒の割合 100%(中学部)</p>	

#### 改善課題

- ・キャリア教育プログラムの活用については、公開授業等の指導案作成時に活かされているが、キャリア教育プログラム上のねらいと学習指導要領の教科の目標や評価との整理や学習の着実な積み上げが課題とされる。またこのことは、体験的な学習についても同様である。
- ・人権を大切にされた教育として、自己肯定感を高めるため褒め方を工夫することや児童生徒への言葉かけや支援について教員が互いに気をつけあってきたが、さらなる意識の向上が必要である。また、人権についての研修は、部落、外国人、男女問題等幅広いため、教員各自が研修を進めるなど幅広い人権意識の向上が求められる。

#### (2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>○センター 的機能の充 実</p>	<p>○地域の特別支援教育についての理解啓発および専門性向 上のための取り組み</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開研修会の実施</li> </ul>	<p>公開研修会 3講座実施 (本校2講座、分校1講座)</p>	

<p>○組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上</p> <p>○危機管理等における対応力の向上</p> <p>○関係機関・保護者との連携・信頼関係の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者のニーズに合わせた体験研修の実施</li> <li>地域の施設等への児童生徒作品等の掲示による啓発</li> <li>かがやき特別支援学校と連携した地域支援の実施</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公開研修会参加者のアンケート満足度 80%以上</li> <li>体験研修参加者のニーズに対する満足度 80%以上</li> </ul> <p>○児童生徒が主体的に活動できるための授業づくりや支援についての取り組み</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学部研修、教育部門別研修会等の実施 8回</li> <li>キャリア教育プログラムに基づく授業公開（教員相互による授業見学と研究協議）の実施（再掲）</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他学部の授業公開への参加 教職員全員</li> </ul> <p>○教職員の防災意識の向上と火災・地震等を想定した訓練の実施</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の防災学習の実施 各学期1回</li> <li>避難訓練の実施 3回</li> <li>教職員対象の防災危機管理等の研修 2回</li> <li>防災等の取り組みについて、プリント等による保護者への情報提供 3回</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の実施率 100%</li> <li>防災についての保護者アンケート満足度 80%以上</li> </ul> <p>○保護者が早期から進路について考える機会、障害者総合支援法に定められている様々な福祉サービス、石薬師分校（高等部）についての情報を知る機会の設定</p> <p>○鈴鹿病院との円滑な連携による病棟生の教育内容の充実</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希望する保護者への進路懇談会の実施（福祉サービスの説明、自宅近隣の施設の確認、本校及び石薬師分校の進路指導計画等の説明）</li> <li>中学部生徒保護者の石薬師分校の見学会や授業体験の実施</li> <li>病棟との連絡会、生徒指導懇談会の定期的な開催による児童生徒の支援や安全衛生に関する情報共有</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路懇談会終了後アンケートの満足度 80%</li> </ul>	<p>地域の銀行への作品展示</p> <p>かがやき特別支援学校と連携した地域支援 16回実施</p> <p>公開研修会満足度 100%</p> <p>体験研修満足度 100%</p> <p>学部研修 6回実施、教育部門別研修2回実施</p> <p>他学部授業公開参加者 100%</p> <p>避難訓練(地震)5月27日、保護者引き渡し訓練7月2日、下校時災害対応訓練9月3日、避難訓練(火災)10月30日、地震時初期対応訓練1月17日実施(併せて防災学習も実施)</p> <p>防災だより2回発行</p> <p>防災訓練実施率 100%</p> <p>保護者満足度 93%</p> <p>進路懇談会、小学部 13名、中学部 6名、高等部 1名実施</p> <p>石薬師分校との連携、分校体験会(12月、中3生)、分校見学会(2月、中2生)実施</p> <p>アンケート満足度 100%</p>
--	--	--

<p>○信頼される学校、働きやすい職場づくりの推進</p>	<p>○コンプライアンスの遵守による信頼される学校づくりと働き方改革に基づく働きやすい職場づくりの取り組み</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスミーティングの実施 2回</li> <li>・学校倫理委員会等によるコンプライアンスの相互チェック</li> <li>・ランチミーティングによる職員間の円滑なコミュニケーションの促進 1回</li> <li>・定時退校日の設定 月1回</li> <li>・ノー会議デーの設定 25日</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員アンケートによる働きやすい職場率 80%以上</li> <li>・時間外労働時間前年度比 5%減</li> <li>・休暇取得の促進 前年度比一人あたり0.5日増</li> <li>・定時退校日の時間外勤務者 15%以下</li> <li>・定例会議の時間内終了率 85%以上</li> </ul>	<p>コンプライアンスミーティング全体1回、各学部1回実施</p> <p>学校倫理委員会 3回開催</p> <p>ランチミーティング7月実施</p> <p>定時退校日 月1回実施</p> <p>ノー会議デー25日設定</p> <p>働きやすい職場率67%</p> <p>時間外労働時間27%減</p> <p>休暇取得前年度比1日増</p> <p>定時対校日時間外勤務者96%</p> <p>定例会議の時間内終了率90%</p>
-------------------------------	--	---

### 改善課題

- ・計画的、組織的な学部研修、公開授業等の実施により授業力の向上が見られるが、さらなる向上を図る必要がある。
- ・様々な形態での防災訓練や研修を工夫して行ったことで、教職員それぞれが防災についての意識を高め、課題意識をもつことができたが、他のいろいろな場面を想定した訓練や対応を検討することが課題である。
- ・コンプライアンス遵守の意識向上と働きやすい職場づくりの推進については、継続して取り組む必要がある。

## 5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校あげての公開授業の取り組みは評価できる。継続した取り組みと内容の充実を図ってほしい。</li> <li>・教職員の人権意識の向上やいじめや体罰を許さないといった職場の雰囲気作りを進めてほしい。</li> <li>・防災については、危機管理の観点からも日々の備えを進めてほしい。</li> <li>・教職員の時間外労働の軽減を進めた結果、地域の学校では新たな課題も出ているため、現状を把握しつつ教員の負担軽減に取り組んでほしい。</li> </ul>
----------------------------	--

## 6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業については取り組みを継続して進めるとともに、事例検討などの研修も行うことでさらなる授業力の向上を進める。</li> <li>・教職員が、いじめや体罰を許さないという意識を強く持つとともに、幅広く人権意識の向上を図る。</li> </ul>
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・危機管理に対応した訓練や備えについて引き続き計画的に取り組むを進めるとともに、保護者への適切な情報発信に努める。</li> <li>・働きやすい職場づくりの推進に向けて時間外労働の縮減や休暇の取得しやすさ等について検討を進める。</li> </ul>